第4章
便利な機能

ページ

通話内容や伝言メモを録音する（親機）

すべての録音を合わせて最大約12分間録音できます。録音できる件数は最大30件までです。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。

通話内容を録音する

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 通話中に
登録 **を押し、**
で「ロクオン」を選ぶ

<トウロク>
3：ロクオン

●内線通話中は、通話録音できません。

2 決定 **を押して録音を開始する**

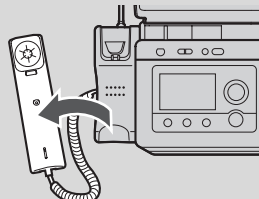
録音をやめるときは 停止 **を押す**

ツウワ　ロクオン中

●録音が終わったら、時刻と件数が自動的に録音されます。（タイムスタンプ機能）
また、留守設定時に録音すると、ディスプレイが点滅し、留守設定解除時はディスプレイに「ミサイセイ　ロクオンガアリマス」と表示されます。

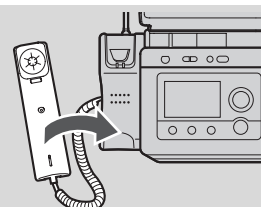
伝言メモを録音する

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 受話器を取る

2 登録 **を押し、**
で「ロクオン」を選ぶ

<トウロク>
3：ロクオン

3 決定 **を押し、受話器で伝言を話す**

4 話し終わったら
停止 **を押してから、受話器を置く**

●録音が終わったら、時刻と件数が自動的に録音されます。（タイムスタンプ機能）
また、留守設定時に録音すると、ディスプレイが点滅し、留守設定解除時はディスプレイに「ミサイセイ　ロクオンガアリマス」と表示されます。

■ **録音内容を再生するときは**
（☞2-42～2-43ページ）

■ **録音内容を消去するときは****（☞2-44ページ）**

■ **伝言メモを録音中に電話がかかってきたときは**
録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

お知らせ

● 子機で通話や伝言メモを録音することはできません。
● ファクスのメモリー受信データや留守番電話の用件録音などがあると録音できる時間が少なくなります。

再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機）

子機では再ダイヤルに記憶した電話番号を電話帳に登録することができます。
再ダイヤルは直前にかけたものから新しい順に、最大3件までの電話番号を記憶しています。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を押す

0312345678

●最後にかけた相手の方を表示します。

2 で登録する電話番号を選んだあと、機能 を押す

ナマエ?

■ **文字を入力するときは**
（☞2-31～2-32ページ）

3 **名前を入れる（最大12文字）**

イケダ　サトシ

●名前の入力を省略するときは手順４へ進みます。

4 機能 **を押す**

ノコリ 95

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

お知らせ

● 親機では、再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することはできません。

読上げボイスダイヤル機能を利用する（親機）

読上げボイス設定を解除／設定する

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を音声（読上げボイス）でお知らせすることができます。
工場出荷時は読上げボイスダイヤルが設定されていません。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、 で「オト　カンレン セッテイ」を選ぶ

<トウロク>
2：オト　カンレン　セッテイ

2 決定 を押し、「ヨミアゲボイス セッテイ」を選ぶ

<オト　カンレン　セッテイ>
4：ヨミアゲ ボ イス　セッテイ

3 決定 を押し、「アリ」を選ぶ

<ヨミアゲ ボ イス　セッテイ>
1：アリ　2：ナシ

- 「アリ」：読上げボイスダイヤル機能を使用します。
- 「ナシ」：読上げボイスダイヤル機能を使用しません。

4 決定 を押す

5 停止 を押す

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-29ページ）
（読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。）

■ **読上げボイスダイヤル機能でのボタンの読み方**

ボタン	読み方	ボタン	読み方
1	「イチ」	8	「ハチ」
2	「ニ」	9	「キュウ」
3	「サン」	0	「ゼロ」
4	「ヨン」	*	「スター」
5	「ゴ」	#	「シャープ」
6	「ロク」	ポーズ	「ポーズ」
7	「ナナ」		

お知らせ

- 読上げボイスの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。
- ダイヤルを始めてから、読上げボイスダイヤル機能を設定／解除することはできません。

モーニングコールを利用する（子機）

モーニングコールを設定する

子機で、モーニングコールを設定することができます。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします。（約５分間隔で1分間鳴り７回くり返します。）

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 を押し、◎ で「アラームセッテイ」を選ぶ

アラームセッテイ

2 機能 を押し、◎ で「ON」を選ぶ

▶ON　OFF

3 機能 を押す

00:00

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で4ケタ入力します）

07:00

● すでに設定している時刻を変更するときは、◎ で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 機能 を押す

● マークが表示されます。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **毎日モーニングコールをご利用になるときは**

モーニングコールの設定は、アラーム音でのお知らせを７回くり返したあとは自動的に解除されますので、毎日ご利用になるときは毎日設定してください。

お知らせ

● 子機の時計を設定していないときは、モーニングコールの設定はできません。(☞1-31ページ)

■ **モーニングコールの音を途中で止めるときは**

モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。（クイック通話の設定を「ON」にしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）このあと約５分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

モーニングコールを解除する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 を押し、◎ で「アラームセッテイ」を選ぶ

2 機能 を押し、◎ で「OFF」を選ぶ

3 機能 を押す

● マークが消えます。

お知らせ

● 子機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから（☞1-31ページ）、モーニングコールを設定してください。
● モーニングコールを設定したあとに、子機の時刻合わせを行うと、モーニングコールは解除されます。
● アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。「キリ」に設定しているときは「ショウ」の大きさで鳴ります。
● アラームが動作中に子機を充電器から取るなど何かの操作を行うとアラームは停止し子機を使用することができます。また、電話やファクスの着信があった場合もアラームは停止します。

親機をもっと便利に使う

親機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの で選びます。
工場出荷時は に設定されています。

メモリー受信を設定する

はたらき

いったんメモリーで受信します。記録紙やインクリボンがなくなったときは、受信した内容はメモリーに記録しています。

- **スル** メモリーで受信します。
- **シナイ** 直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときは、ファクス受信できません。
- **ジドウ** メモリー受信中にメモリーがいっぱいになると、次に受信するときに、メモリー受信せずに直接記録紙にプリントします。

手順

親機で設定します

登録 → 「**ショウサイ　セッテイ**」を選ぶ → 決定 → 「**FAX ／コピー**」を選ぶ → 決定 → 「**メモリージュシン**」を選ぶ → 決定 → 1：スル　2：シナイ　3：ジドウ　から選ぶ → 決定 → 停止

終了音を設定する

はたらき

コピーやファクスの送信・受信後に鳴る終了音を設定します。

- **オンセイ** 「音声」でお知らせします。お買いあげ時はこちらの設定になっています。（ただし、コピー時の終了音は「鳥の声」になります。）
- **トリノコエ** 「鳥の声」でお知らせします。
- **アラームオン** 「ピー」でお知らせします。
- **ナシ** 終了音を鳴らしません。

手順

親機で設定します

登録 → 「**ショウサイ　セッテイ**」を選ぶ → 決定 → 「**FAX ／コピー**」を選ぶ → 決定 → 「**シュウリョウオン**」を選ぶ → 決定 → 1：オンセイ　2：トリノコエ　3：アラームオン　4：ナシ　から選ぶ → 決定 → 停止

キータッチ音を設定する

はたらき

親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。

- **アリ** 親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。
- **ナシ** 「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。

手順

親機で設定します

登録 → 「**ショウサイセッテイ**」を選ぶ → 決定 → 「**キータッチオン**」を選ぶ → 決定 → 1：アリ　2：ナシ　のどちらかを選ぶ → 決定 → 停止

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

消去 を押します。

子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの で選びます。
工場出荷時は に設定されています。

クイック通話を設定する

はたらき

子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。

- ・ON　着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。
- ・OFF　子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。

手順

子機で設定します

  「**クイックツウワ**」を選ぶ   マルチファンクションキーの で

「**ON**」
「**OFF**」
のどちらかを選ぶ 機能

キータッチ音を設定する

はたらき

子機のボタンを押したときに、「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。

- ・ON　子機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。
- ・OFF　「ピッ」という音（キータッチトーン）は鳴りません。

手順

子機で設定します

機能 「**キータッチトーン**」を選ぶ   マルチファンクションキーの で

「**ON**」
「**OFF**」
のどちらかを選ぶ 機能

待ち受け時間を選ぶ

はたらき

充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。

- ・**ヒョウジュン**　待ち受け時間は約 200 時間になります。
- ・**チョウジカン**　待ち受け時間は約 240 時間になります。
（「チョウジカン」にすると「ヒョウジュン」のときよりも子機の着信音が遅れて鳴ることがあります。）

待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり着信音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。

手順

子機で設定します

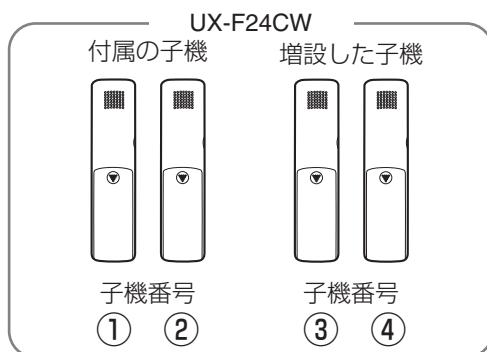
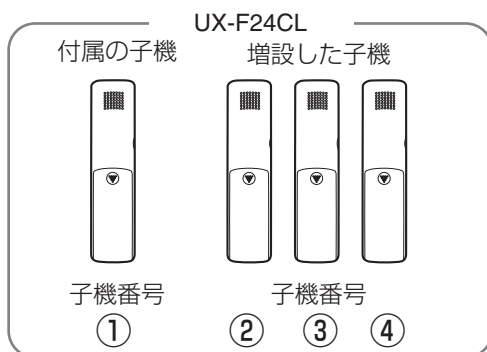
機能 「**マチウケジカン**」を選ぶ 機能 マルチファンクションキーの で

「**ヒョウジュン**」
「**チョウジカン**」
のどちらかを選ぶ

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

子機を増設する（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります

- 子機は、付属の子機以外に３台まで、UX-F24CWは２台まで増設することができます。
- 増設できる子機はCJ-KS50、CJ-KS4、CJ-KS7です。また、BS/CSチューナー用コードレス通信ユニット（CJ-KBS1）が増設できます。他の子機は増設できませんのでご注意ください。
- CJ-KS4、CJ-KS7を増設したときは、子機間通話はできません。
  CJ-KS50を増設すると、子機間通話（トランシーバー方式）ができます。
- 機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。
- 増設子機の登録方法は、別売の増設子機に付属している登録手順説明書をご覧ください。
  （CJ-KS50以外の増設子機では、増設登録手順タイプＡと記載されています。）
- 子機を増設したときは、操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●UX-F24CL/UX-F24CWに増設した場合の機能比較（付属の子機は、CJ-KS50と同等です）

	機能名＼機種名	付属の子機	CJ-KS50	CJ-KS4	CJ-KS7	この取扱説明書の参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	2-29
	電話帳転送（親機⇔子機）	○	○	○	○	2-36
	再ダイヤル	○（3件）	○（3件）	○（3件）	○（10件）	2-12
	ダイヤルボタン点灯	×	×	×	○	―――
	優先呼出	○	○	○	○	2-9
	モーニングコール	○	○	○	○	4-5
	子機間通話（トランシーバー方式）	○	○	×	×	2-15
	子機間ひと声通知	×	×	○	○	4-9
	受話音量切換	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	1-30
	スピーカーホン通話	○	○	○	○	2-7
ナンバーディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	○	○	5-2
	着信記録	○	○	○	○	5-11
	着信鳴り分け	○	○	○	○	5-20

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

CJ-KS4、CJ-KS7を増設してお使いのときは、子機から子機へメッセージを伝えることができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）
なお、CJ-KS50を増設したときは、トランシーバー方式で子機間通話ができます。（☞2-15ページ）

操作のしかた

1 子機

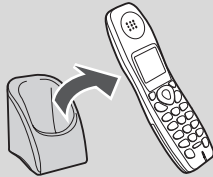
子機を充電器から取って 内線/クリア（保留） を押す

2 子機

呼び出したい子機の内線番号を押す

- 通話ボタンが点滅します。
- 呼び出した子機が応答するまで「ププププ…」と鳴ります。通話ボタンが点灯します。

3 呼び出された子機

着信音が鳴ったら、
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

4 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

- 呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子機

メッセージが終わったら
（切） **を押す**

- この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

■ **途中でやめるときは**
（切） を押します。

子機から子機へ電話を転送する（ひと声転送）

CJ-KS4、CJ-KS7を増設してお使いのときは、子機にかかってきた電話をひと声だけメッセージを伝えて他の子機へ転送することができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）
なお、CJ-KS50を増設したときは、トランシーバー方式で子機間通話をしたあと、転送することができます。
（☞2-18ページ）

操作のしかた

1 子機

子機で外線通話中に

内線/クリア 保留 **を押す**

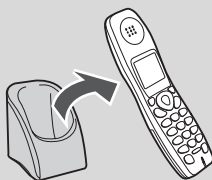
2 子機

呼び出したい子機の内線番号を押す

- 外線通話中の相手の方には保留メロディが流れます。
- 呼び出した子機が応答するまで「ププププ…」と鳴ります。
- 通話ボタンが点滅します。

3 呼び出された子機

着信音が鳴ったら、

充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

■ **呼び出している子機が出ないときは**

内線/クリア 保留 を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと 内線/クリア 保留 または 通話 を押すと外線の相手の方との通話に戻ります。

4 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

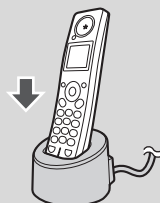
- 呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子機

メッセージが終わったら

子機を充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

7 呼び出された子機

通話 **を押す**

または

内線/クリア 保留 **を押す**

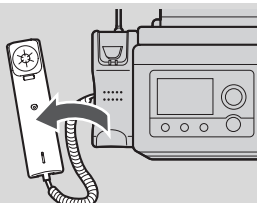
- 外線の相手の方と通話できます。

プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御　等）を利用することができます。

親機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

操作のしかた

1 受話器を取る

2 各種サービスにダイヤルする

3 トーン(＊)を押す

●このあと、アナウンスにしたがって操作します。

●これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。

●電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

子機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

操作のしかた

1 (通話)を押す

●子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 トーン(＊)を押す

●このあと、アナウンスにしたがって操作します。

●これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。

●電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約の方でも、トーン(＊)（親機の場合）またはトーン(＊)（子機の場合）を押すと、このトーン信号を出すことができます。（子機では「ピッ、ポッ、パッ」の音は聞こえません。）

お知らせ

● サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。

● 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。（読上げボイスダイヤルの設定は「なし」にしてください。）

キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつで、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。
キャッチホンを利用するにはNTTとの契約（有料）が必要です。

親機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に着信音が聞こえたら

キャッチ/カナ **を押す**

キャッチ

●キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

2 もとの通話に戻るときはもう一度

キャッチ/カナ **を押す**

子機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に着信音が聞こえたら

カナ/キャッチ **を押す**

0:30

●キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

2 もとの通話に戻るときはもう一度

カナ/キャッチ **を押す**

■ **キャッチホン・ディスプレイを契約するときは（☞5-6ページ）**

■ **キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは（☞7-9ページ）**
キャッチホンの切替時間を変えることができます。

お知らせ

- キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、スタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを契約すると、着信音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（☞5-6～5-9ページ）

第5章
ナンバー・ディスプレイ

5 ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、かかってきた相手の方の電話番号を表示するサービスです。

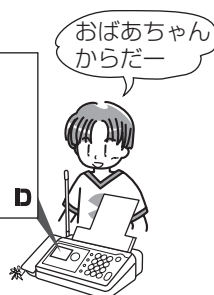
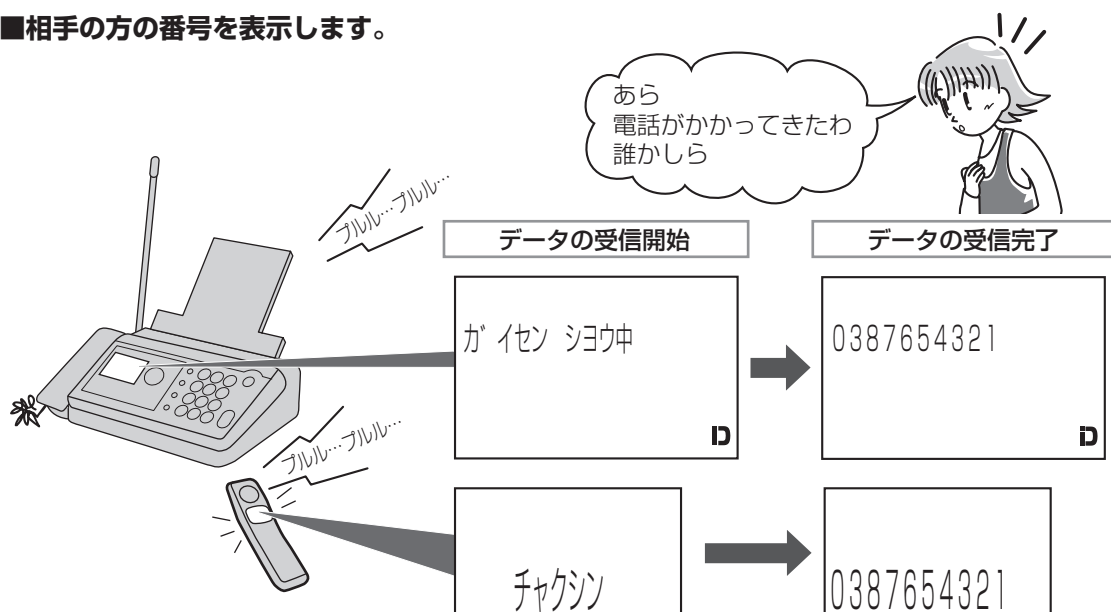
このサービスをご利用の際は、利用契約が必要ですので、詳しくはNTTの窓口へお問い合わせください。
サービスを契約したあとは、必ずナンバー・ディスプレイを「スル」に設定してください。(☞5-3ページ)
ナンバー・ディスプレイの設定は、はじめは「スル」に設定されています。

電話がかかってくると…

■相手の方の番号を表示します。

あら
電話がかかってきたわ
誰かしら

プルル…プルル…

データの受信開始	データの受信完了
ガ゛イセン　シヨウ中	0387654321
チャクシン	0387654321

■親機や子機の電話帳に登録している相手の方から電話がかかってきたときは、親機では電話帳に登録している名前と電話番号を表示します。子機では電話帳に登録している名前を表示します。

あら
サトシさんからの電話ね

プルル…プルル…

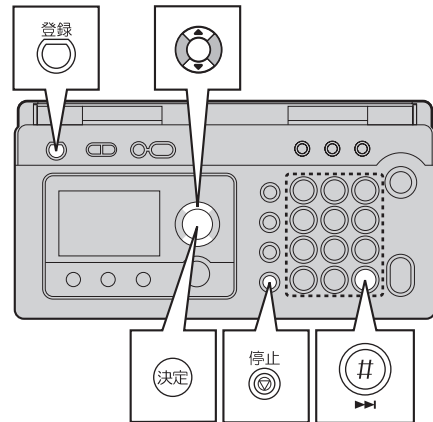
データの受信開始	データの受信完了
ガ゛イセン　シヨウ中	イケダ゛　サトシ 0312345678
チャクシン	イケダ゛　サトシ

ナンバー・ディスプレイを利用設定する

初期設定では、ナンバー・ディスプレイを「利用する」設定になっています。設定を変更するときは、下記の手順で変更してください。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 **を押し、** # **を4回押す**

<トウロク>
1:トクベツセッテイ

2 決定 **を押し、** ◎ **で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ**

<トクベツセッテイ>
4:ナンバーディスプレイ

3 決定 **を押し、「スル」を選び、再び** 決定 **を押す**

<ナンバーディスプレイ>
1:スル 2:シナイ

●はじめは「スル」になっています。
●**ナンバー・ディスプレイを利用しないとき**は、「シナイ」を選び、決定ボタンを押します。

4 停止 **を押す**

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

消去 を押します。

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイの利用設定を「スル」に設定しても、すぐにディスプレイにはDマークは表示されません。
  設定後一度着信すると、Dマークが表示されます。
- 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを「使用しない」設定にしてください。
- ナンバー・ディスプレイをISDN回線でお使いのときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をお使いください。

着信鳴り分けを設定したときは

電話がかかってきたときに、親機は、親機の電話帳に登録されている方に、子機は、着信の種類に合わせて着信音の鳴り方を変えてお知らせします。(☞5-18～5-20ページ)

非通知お断りを設定したときは

相手の方が番号非通知(「184をダイヤル」または、「通常非通知」(回線ごと非通知))で、電話をかけてくると、こちら側では着信音が鳴らずにお断りのメッセージを流すことができます。(☞5-21～5-22ページ)

公衆電話お断りを設定したときは

相手の方が公衆電話から電話をかけてくると、こちら側では着信音を鳴らさずにお断りメッセージを流すことができます。(☞5-21～5-22ページ)

表示圏外お断りを設定したときは

相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたとき、また、サービスの契約条件等により番号が表示できないとき(国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など)、こちら側では着信音を鳴らさずにお断りメッセージを流すことができます。(☞5-21～5-22ページ)

お断りする番号を登録したときは

あらかじめ特定の番号を登録しておくと、登録した相手の方から電話がかかってきたときに着信音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます。(☞5-23～5-24ページ)

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイを開始後に、ナンバー・ディスプレイの設定(☞5-3 ページ)を「シナイ」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに短い着信音が5～6回鳴り、このときに電話に出ると切れてしまいます。このあと通常の着信音が鳴ってから、電話に出てください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、在宅モード時のコール回数(☞3-21ページ)や、留守モード時のコール回数(☞2-40ページ)を2回以上に設定してください。
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイに表示されるのは、親機では16ケタ、子機では12ケタまでです。(子機で12ケタを超える電話番号は最初から12ケタを表示します)
- 内線通話中に電話がかかってきたときは、着信表示されません。
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機(PBX)や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。
- 同じ番号を親機や子機の電話帳に登録すると、ナンバー・ディスプレイの名前表示(親機や子機の電話帳に登録している相手の方からの名前表示)が正常に動作しないことがあります。
- 相手の方が、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、発信時に相手の方につながるまでの時間が長くなることがあります。
- 1本の電話回線に2台以上の電話機などを接続(ブランチ式接続)してご利用の場合は、発信電話番号が正確に表示されないことがあります。

電話がかかってきたときの画面表示について

表示	着信情報
親機 子機 「0387654321」など (電話番号)	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。(「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。)
親機 「イケダ　サトシ」など (相手の方の名前) 「イケダ　サトシ」 0387654321」など 子機 「イケダ サトシ」など (相手の方の名前)	親機および子機の電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけてきたときは、親機では名前と電話番号を表示し、子機では名前を表示します。(親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。) **親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。**
親機 「ヒツウチ」 子機 「ーヒツウチー」	相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。(「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。)
親機 「ヒョウジケンガイ」 子機 「ーヒョウジケンガイー」	相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときやサービスの契約条件等により、番号が表示できないときに表示します。(国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など)
親機 「コウシュウデンワ」 子機 「ーコウシュウデンワー」	相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。 公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「ヒツウチ」になります。
親機 「ジュシンエラー」 子機 「ージュシンエラーー」	回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。
親機 「ガイセン　シヨウ中」 子機 「チャクシン」	着信音が鳴る前に、NTT から相手の電話番号データを受信しています。この表示のときは、電話に出ることもかけることもできません。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

NTTのキャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができます。

■ **このサービスをご利用の際は、①〜③のサービスへの利用契約が必要です。**

①ナンバー・ディスプレイ（有料）
②キャッチホン・ディスプレイ（有料）
③キャッチホン／キャッチホンⅡ／マジックボックス／ボイスワープ／話中転送サービス

※③についてはいずれかの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

■ **サービスを契約したあとは、2つの設定をする必要があります。**

・必ずキャッチホン・ディスプレイの利用設定を「スル」に設定してください。（☞5-7ページ）
また、ナンバー・ディスプレイの利用設定が「スル」になっていることを確認してください。
（☞5-3ページ）

通話中に電話がかかってくると…

■通話中に電話がかかってくると、相手の方の番号を表示します。

親機で通話中に受けたときは

親機のみ相手の方の番号を表示して、
子機には表示しません。

子機で通話中に受けたときは

子機のみ相手の方の番号を表示して、
親機には表示しません。

■親機や子機の電話帳に登録している相手の方から通話中に電話がかかってきたときは、親機では電話帳に登録している名前と電話番号を表示します。子機では電話帳に登録している名前を表示します。

親機で通話中に受けたときは

親機のみ相手の方の名前と電話番号
を表示して、子機には表示しません。

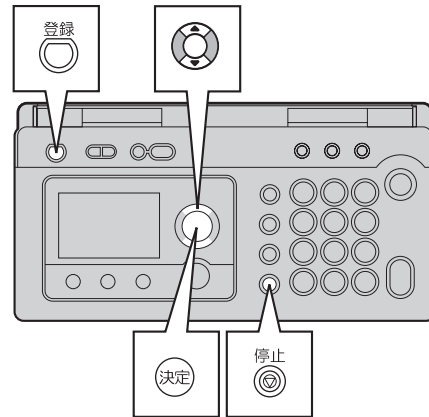
子機で通話中に受けたときは

子機のみ相手の方の名前を表示して、
親機には表示しません。

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイで電話を受けたときは、通話中にかかってきた電話も着信記録に残ります。（☞5-10〜5-11ページ）
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイに表示されるのは親機では16ケタですが、子機では12ケタまでです。
- 親機・子機の両方で名前を表示するためには、それぞれ両方の電話帳に名前と電話番号を登録してください。

キャッチホン・ディスプレイを利用設定する

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、設定を必ず「スル」にしてください。
（はじめは、「シナイ」に設定されています。）
※ サービスを契約しているのに、「シナイ」に設定していると、電話を受けられないことがあります。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 **を押し、** ◎ **で「ショウサイ　セッテイ」を選ぶ**

<トウロク>
7：ショウサイ　セッテイ

2 決定 **を押し、** ◎ **で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ**

<ショウサイ　セッテイ>
2：ナンバ゛ーデ゛ィスプ゛レイ

3 決定 **を押し、** ◎ **で「キャッチホンディスプレイ」を選ぶ**

<ナンバ゛ーデ゛ィスプ゛レイ>
7：キャッチホンデ゛ィスプ゛レイ

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

4 決定 **を押し、** ◎ **で「スル」を選ぶ**

<キャッチホンデ゛ィスプ゛レイ>
1：スル　2：シナイ

●キャッチホン・ディスプレイを利用しないときは、「シナイ」を選び、決定ボタンを押します。

5 決定 **を押す**

スル　ニ　シマシタ

●「スル」に設定されます。

6 停止 **を押す**

■ **1つ前に戻るときは**
消去 を押します。

お知らせ

- 保留中、留守番電話動作中、ファクス送受信中は、電話番号や相手の方の名前などをディスプレイに表示しません。
- キャッチホン・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、次の点に注意ください。
  - ･ファクス送信中／受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、通信エラーになることがあります。
  - ･キャッチホンⅡを利用して、割り込み回数を「0」回に設定すると、割り込みが入らなくなりますので番号表示されません。
  - ･キャッチ/カナボタンを利用した後のみ、「おまかせ受信」機能が働きません。(ファクス受信するときは、スタートボタンを押してください。)
- 通話中にキャッチホン着信が入ると、約１秒程度の無音状態が発生することがありますが、故障ではありません。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポートや構内交換機（PBX）に接続すると、キャッチホン・ディスプレイが使えない場合があります。
- キャッチホン・ディスプレイの利用設定を「スル」に設定しても、すぐにディスプレイにはマークは表示されません。設定後一度着信すると、マークが表示されます。
- キャッチホン・ディスプレイを契約後に、「シナイ」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに「ピポッ・ビュッ」という音が鳴ったあとキャッチホンの着信音が鳴ります。
- キャッチホン・ディスプレイで着信したときは、ナンバー・ディスプレイ機能の中の非通知お断り、公衆電話お断り、表示圏外お断り、特定お断り番号などは働きません。(相手の方にメッセージは聞こえません。)
- キャッチホン・ディスプレイをご利用にならない場合は、利用設定を「シナイ」に設定してください。お話し中の声で、キャッチホン・ディスプレイが働いて通話が途切れてしまうことがあります。
- １本の電話回線に２台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。
- あとからかけてきた方の電話番号などは親機で約20秒間、子機で約30秒間表示されます。
- 通話中の声により通話が途切れる場合があります。
- キャッチホン着信時には、１秒程度の無音状態が発生することがありますが、故障ではありません。また、従来の着信表示音に加えて「ピッ」といった割り込み音が入ります。この割り込み音とお話し中の声が重なりますと電話番号の表示ができないことがあります。

通話中に電話がかかってきたときの画面表示について

表　示	着　信　情　報
親機　子機 「0387654321」など (電話番号)	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。(「通常通知（通話ごと非通知)」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。)
親機 「イケダ サトシ 0387654321」など 子機 「イケダ サトシ」など (相手の方の名前)	親機および子機の電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけてきたときは、親機では名前と電話番号を表示し、子機では名前を表示します。(親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。) **親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。**
親機 「ヒツウチ」 子機 「ーヒツウチー」	相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。(「通常非通知（回線ごと非通知)」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。)
親機 「ヒョウジケンガイ」 子機 「ーヒョウジケンガイー」	相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときや、サービスの契約条件等により、番号が表示できないとき表示します。 (国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP 電話など)
親機 「コウシュウデンワ」 子機 「ーコウシュウデンワー」	相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。 公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「ヒツウチ」になります。
親機 「ジュシンエラー」 子機 「ージュシンエラーー」	回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイの割り込み着信表示は、親機（20秒）／子機（30秒）表示して、通話中表示に戻ります。
- 次のようなときは、電話番号を表示しない場合があります。
  - ·大きな声で通話しているとき
  - ·周囲が騒がしいとき
  - ·設置場所からNTTの交換機まで距離が離れすぎているとき

着信記録を表示する

親機で着信記録を表示する

ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ（☞5-2〜5-9ページ）を契約（有料）すると、着信記録が最大20件まで記録されます。着信記録の番号や親機や子機の電話帳に登録している名前をディスプレイに表示することができます。20件を超えると古い着信記録から消去されます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、◎で「チャクシン キロク」を選ぶ

<トウロク>
4:チャクシン キロク

2 決定 を押す

<チャクシン キロク>
イケダ　サトシ

●最後にかかってきた相手の方の番号（親機の電話帳に登録しているときは名前）と日付・時刻を切り替えて表示します。

3 ◎で選ぶ

<チャクシン キロク>
09087654321

●◎を押すと１件新しい着信記録を表示します。

●◎を押すと１件古い着信記録を表示します。

■ 着信記録の表示をやめるときは

停止 を押します。

■ 着信記録リストをプリントするには

① 登録 を押し、◎で「インサツ」を選ぶ

② 決定 を押し、◎で「チャクシンキロク リスト」を選ぶ

③ 決定 を押す

■ 着信あり表示を設定するには

着信あり表示を「アリ」に設定しておくと、かかってきた電話に出られなかったり、留守応答する前に切れてしまった場合に、「チャクシンキロク アリ」と待受画面に表示してお知らせします。（☞2-5ページ）はじめは「ナシ」に設定されています。設定を変更するときは、下記の手順で変更してください。

① 登録 を押し、◎で「ショウサイ セッテイ」を選ぶ

② 決定 を押し、◎で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

③ 決定 を押し、◎で「チャクシンアリ ヒョウジ」を選ぶ

④ 決定 を押し、◎で「アリ」を選ぶ

⑤ 決定 を押す

⑥ 停止 を押す

■ 親機の着信記録を１つだけ消去するときは

① 登録 を押す

② ◎で「チャクシン キロク」を選ぶ

③ 決定 を押す

④ ◎で、消去する着信記録を選んだあと、消去 を押す

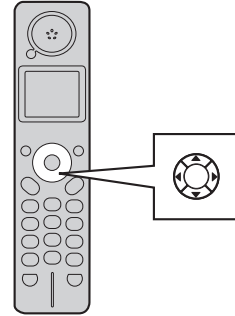
⑤ もう一度、消去 を押す
（表示中の着信記録が一件、消去されます。）

⑥ 停止 を押す

お知らせ

● 親機の着信記録を一度にすべて消去することはできません。
● 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
●「非通知お断り」「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。
● 発信者側で電話を切るタイミングによっては、表示が空白の着信記録が残ってしまうことがあります。
● 着信記録の番号を親機の電話帳に登録することができます。（☞5-16ページ）
● 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。（子機ではナンバー・ディスプレイに契約していないと、着信のあった日付・時刻を表示することはできません。）

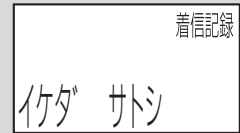
子機で着信記録を表示する

子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号や子機の電話帳に登録されている名前をディスプレイに表示することができます。
20件を超えると、古い着信記録から消去されます。

操作のしかた　通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を2回押す

着信記録
0312345678

- 最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
- 再ダイヤルを消去しているときは を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

2 で選ぶ

着信記録
イケダ　サトシ

- を押すと1件古い着信記録を表示します。
- を押すと1件新しい着信記録を表示します。
- 選んだあと を押すと着信のあった日付・時刻を表示します。

■ **着信記録の表示をやめるときは**

切 を押します。

■ **子機の着信記録をすべて消すときは**

① 通話 を消灯させた状態で、機能 を押す

② で「チャクシンキロククリア」を選ぶ

③ 機能 を押す

④ もう一度、機能 を押す

お知らせ

- 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 「非通知お断り」「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。
- 着信記録の番号を、子機の電話帳に登録することができます。(☞5-17ページ)
- 子機の着信記録を1件ずつ消すことはできません。

着信記録を使って電話をかける

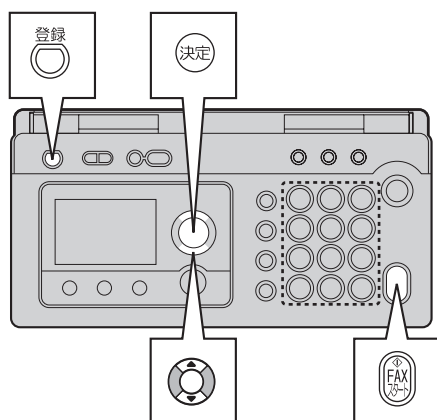
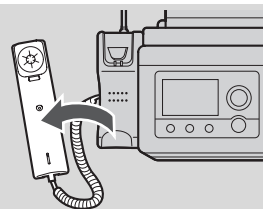
親機で着信記録を使って電話をかける

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。
21件以上着信すると、古い着信記録から自動的に消去されます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

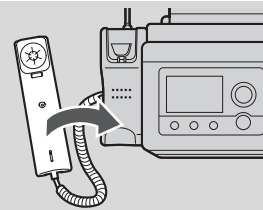
1 登録 **を押し、** **で「チャクシン キロク」を選ぶ**

<トウロク>
4：チャクシン キロク

2 決定 **を押す**

<チャクシン キロク>
イケダ　サトシ

3 **で選んだあと、受話器を取る**

● を押すと1件古い着信記録が選択されます。

● を押すと1件新しい着信記録が選択されます。

4 通話が終わったら **受話器を戻す**

■ **途中でやめるときは**
受話器を戻します。

■ **受話器を取ったあと、着信記録を使って電話をかけるときは**

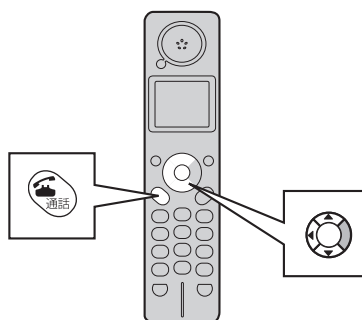
① 受話器を取る
② 登録 を押したあと で「チャクシンキロク」を選んで 決定 を押す
③ で選んだあと、FAXスタート を押す
④ 相手の方とお話しする
⑤ 通話が終わったら受話器を戻す

■ **184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは**
左記の①のあとに「184」や「186」などをダイヤルして②～④の操作を行います。
（「184」や「186」などを親機が発信中のときは、②～④の操作を行うことができません。少し待ってから②～④の操作を行ってください。）

お知らせ

● 着信記録を使って電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
（「184」などダイヤルした番号では働きます）

子機で着信記録を使って電話をかける

子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。
21件以上着信すると、古い着信記録から自動的に消去されます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

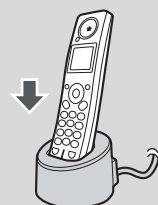
1 を2回押す

着信記録
0312345678

●最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
●再ダイヤルを消去しているときは を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

2 で選び、
を押す

● を押すと1件古い着信記録を表示します。
● を押すと1件新しい着信記録を表示します。

3 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

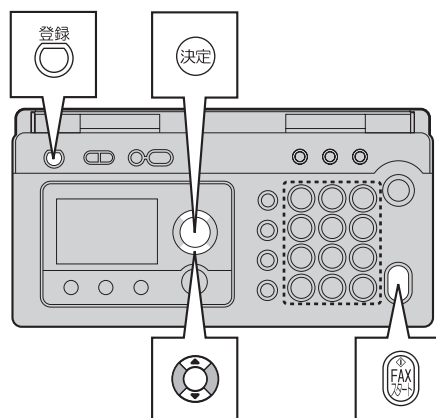
■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

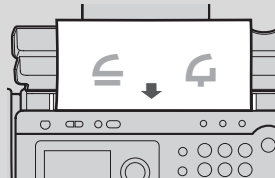
お知らせ

● 親機・子機とも、発信電話番号情報がない場合や、受信エラーなどのときは、電話をかけることはできません。
● 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイには、親機では16ケタ表示しますが、子機では12ケタまでしか表示しません。
● 親機でコピー中・プリント中のときは、子機の使用はできません。

着信記録を使ってファクスを送る

親機で着信記録を使って ファクスを送る

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

2 登録 **を押し、**（上下ボタン）**で「チャクシン キロク」を選ぶ**

```
&lt;トウロク&gt;
4：チャクシン キロク
```

3 決定 **を押す**

```
&lt;チャクシン キロク&gt;
イケダ゛ サトシ
```

●最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。（親機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。）

4（上下ボタン）**で選んだあと、** FAXスタート **を押す**

●（下ボタン）を押すと１件古い着信記録が選択されます。

●（上ボタン）を押すと１件新しい着信記録が選択されます。

●このあと、自動的に送信を始めます。

■ **途中でやめるときは**

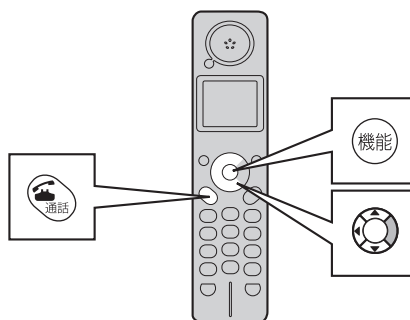
停止 を押します。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら**
（☞6-22ページ）

お知らせ

● 着信記録を使ってファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

子機で着信記録を使って ファクスを送る

子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 親機

原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。(一度に5枚まで)
●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

2 子機

を2回押す

着信記録
0312345678

●最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録している番号のときは、名前を表示します。

3 子機

で選んだあと、 を押す

0387654321

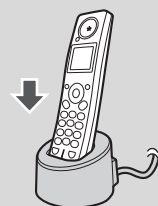
● を押すと１件古い着信記録を表示します。
● を押すと１件新しい着信記録を表示します。
●通話ボタンが点灯します。

4 子機

相手の方が出たら
ファクスを送ること
を伝えて
機能 を押す

●相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったら、機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。(おまかせ送信)

5 子機

充電器に戻す

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

■ **おまかせ送信について**（☞3-8ページ）

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら**
（☞6-22ページ）

着信記録を電話帳に登録する

着信記録を親機の電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を親機の電話帳に登録することができます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、◎で「チャクシン キロク」を選ぶ

<トウロク>
4:チャクシン キロク
D

2 決定 を押す

<チャクシン キロク>
09087654321

3 ◎で登録する番号を選ぶ

- ◎を押すと1件古い着信記録が選択されます。
- ◎を押すと1件新しい着信記録が選択されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **文字を入力するときは（☞2-25～2-26ページ）**

4 登録 を押す

アイテメイ トウロク カ ナ

5 名前を入れる（最大20文字）

アイテメイ トウロク カ ナ
ミウラサオリ

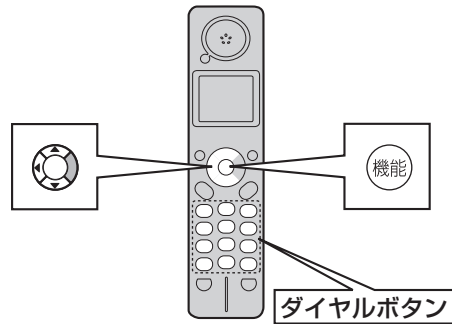
6 決定 を押す

トウロク シマシタ

- 親機の電話帳に登録されます。

■ **親機の電話帳の内容を1件ずつ消すときは（☞2-24ページ）**

着信記録を子機の電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を子機の電話帳に登録することができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を2回押す

着信記録
0312345678

2 で登録する番号を選び、機能を押す

ナマエ?

3 名前を入れる（最大12文字）

ミウラ サオリ

● 名前の入力を省略するときは機能ボタンを押すと登録を完了します。

4 機能を押す

ノコリ 16

● 「ピー」と鳴って、残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**
切を押します。

■ **子機の電話帳の内容を消すときは** （☞2-30ページ）

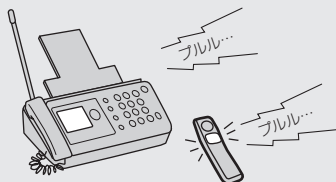
■ **文字を入力するときは** （☞2-31～2-32ページ）

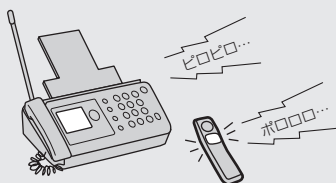
お知らせ

● 親機・子機とも、発信電話番号情報がない場合や、受信エラーなどのときは、電話帳に登録することはできません。

● 登録中に電話がかかってくると、登録は中止されます。はじめからやり直してください。

着信鳴り分けを利用する

NTTのナンバー・ディスプレイを契約（有料）すると、電話がかかってきたときに、親機では、「親機の電話帳に登録されている相手の方」からの着信に合わせて着信音を変えることができます。子機では、「子機の電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」からの着信に合わせて着信音を変えることができます。はじめは、親機は「2：ナシ」、子機は「カイジョ」に設定されています。

着信鳴り分けを設定していない相手の方のとき

親機では、1-26ページで設定した着信音が鳴ります。
子機では、1-28ページで設定した着信音が鳴ります。

着信鳴り分けを設定した相手の方のとき

親機では、親機の電話帳に登録されている方のみ5-19ページで設定した着信音が鳴ります。
子機では、着信の種類に合わせて5-20ページで設定した着信音が鳴ります。

親機の鳴り分けを設定する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、◎ で「ショウサイ　セッテイ」を選ぶ

```
<トウロク>
7:ショウサイ セッテイ
```

2 決定 を押し、◎ で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

```
<ショウサイ セッテイ>
2:ナンバ ーデ ィスプ レイ
```

3 決定 を押し、「チャクシン　ナリワケ」を選ぶ

```
<ナンバ ーデ ィスプ レイ>
1:チャクシン ナリワケ
```

4 決定 を押し、◎ で「アリ」を選ぶ

```
<チャクシン ナリワケ>
1:アリ 2:ナシ
```

● 「ナシ」を選び決定ボタンを押すと「親機の着信鳴り分け」を解除します。

5 決定 を押す

```
アリ ニ シマシタ
```

● 「アリ」に設定されます。

6 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

消去 を押します。

お知らせ

● かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。

親機の鳴り分け時の着信音を選ぶ

着信鳴り分け時の着信音を選びます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、◎ で「ショウサイ セッテイ」を選ぶ

<トウロク>
7:ショウサイ セッテイ

2 決定 を押し、「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

<ショウサイ セッテイ>
2:ナンバ゛ーデ゛ィスプ゛レイ

3 決定 を押し、◎ で「ナリワケジノチャクシンオン」を選ぶ

<ナンバ゛ーデ゛ィスプ゛レイ>
2:ナリワケジ゛ノチャクシンオン

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

消去 を押します。

4 決定 を押し、◎ で着信音を選ぶ

<ナリワケジ゛ノチャクシンオン>
3:デ゛ンシオン

着信音の種類		
	1	デンワベルオン
	2	トリノコエ
	3	デンシオン
	4	バッハノインベンション
	5	ビバルディノハル
	6	アイネ・クライネ

5 決定 を押す

デ゛ンシオン ニ シマシタ

6 停止 を押す

子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

子機では、「子機の電話帳に登録している方」「非通知の電話」「公衆電話」「表示圏外」の４項目ごとに着信音を変えることができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を押し、** で「チャクシンナリワケ」を選ぶ

チャクシンナリワケ

2 機能 **を押し、** で鳴り分けをしたい項目を選ぶ

● 「デンワチョウ」「ヒツウチ」「コウシュウデンワ」「ヒョウジケンガイ」の4項目から選べます。

3 機能 **を押す**

▲▼:ネイロセンタク

●すでに設定している場合は、設定している着信音が鳴ります。

4 で**着信音を選ぶ**

●選ぶたびに、着信音（確認音）が鳴ります。曲名は表示されません。

01	「プルルル　プルルル」
02	「ポロロロ　ポロロロ」
03	「ピロン　ピロン」
04	「ショートメロディ①」
05	「ショートメロディ②」
06	「展覧会の絵」
07	「エリーゼのために」
08	「のばら」
09	「春」
10	「森のくまさん」

5 機能 **を押す**

● 「ピー」と鳴って着信鳴り分けが設定され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **子機の着信鳴り分けを解除するときは**

操作のしかた 手順４で、「ピピッ」と鳴るまで を押して、機能 を押します。

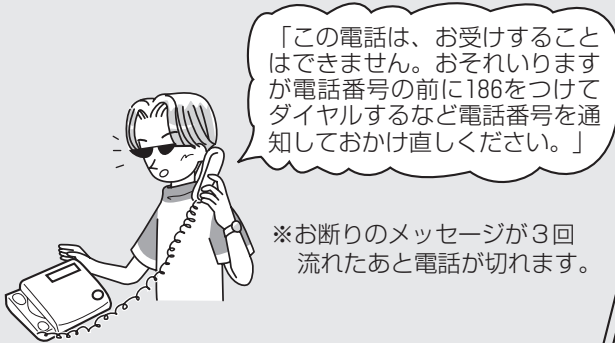
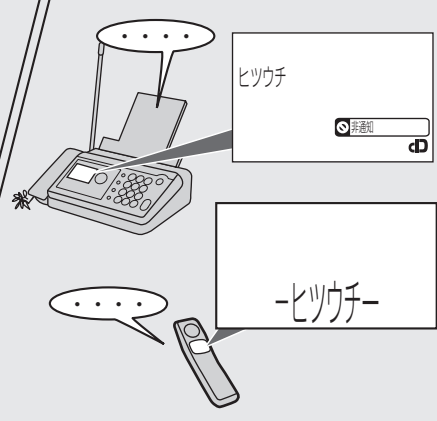
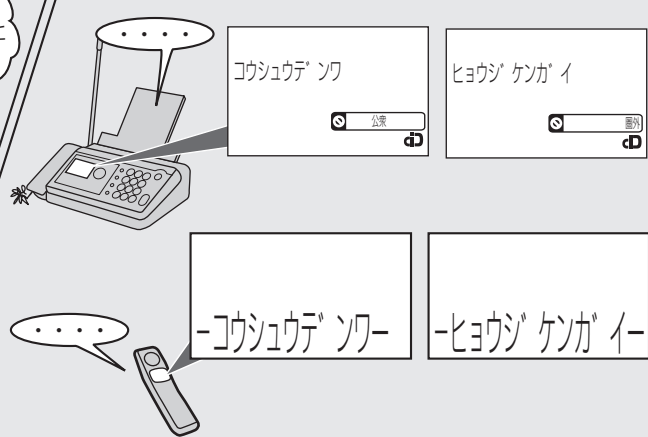
お知らせ

● かかってくる相手の方ごとに鳴り分けを設定することはできません。

着信の種類に合わせてお断りのメッセージを流す

電話がかかってきたときに、「非通知の電話」「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」など着信の種類に合わせて、お断りのメッセージを流すことができます。こちら側では着信音は鳴りません。
お買いあげ時は「シヨウシナイ」に設定されています。

お断りに設定すると

「非通知お断り」のとき

「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」のとき

お知らせ

● お断り応答にしたときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。

着信の種類に合わせてお断りのメッセージを流す

非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定する

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、◎で「ショウサイ　セッテイ」を選ぶ

<トウロク>
7：ショウサイ　セッテイ

2 決定を押し、◎で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

<ショウサイ　セッテイ>
2：ナンバ゛ーデ゛ィスプ゛レイ

非通知お断りを設定するとき

3 決定 を押し、◎で「ヒツウチ オコトワリ」を選ぶ

<ナンバ゛ーデ゛ィスプ゛レイ>
3：ヒツウチ　オコトワリ

公衆電話お断りを設定するとき

3 決定 を押し、◎で「コウシュウ　オコトワリ」を選ぶ

<ナンバ゛ーデ゛ィスプ゛レイ>
4：コウシュウ オコトワリ

表示圏外お断りを設定するとき

3 決定 を押し、◎で「ケンガイ　オコトワリ」を選ぶ

<ナンバ゛ーデ゛ィスプ゛レイ>
5：ケンガ゛イ　オコトワリ

4 決定 を押し、◎で「オコトワリ」を選ぶ

非通知お断りを設定したときの場合

<ヒツウチ　オコトワリ>
1：ナシ　2：オコトワリ

- 「ナシ」　　：お断りを使用しません。
- 「オコトワリ」：お断りメッセージを流して、電話を切ります。

5 決定 を押す

非通知お断りを設定したときの場合

オコトワリ　ニ　シマシタ
非通知

6 停止 を押す

- 「オコトワリ」にしたときは相手の方には着信音が２回鳴ったあと、メッセージが３回流れて電話が切れます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

消去 を押します。

お知らせ

- 非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたとき、着信音はこちら側では鳴りません。（ダイヤルボタンの周囲が点滅します。）
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときに非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたときは、相手の方に着信音が鳴ります。プリントが終わったあと、相手の方にお断りのメッセージが流れます。
- 非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。

特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す

登録したお断り番号の相手の方から電話がかかってきたとき、お断りのメッセージを流すことができます。

お断りしたい番号を登録する

操作のしかた　原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、◎で「ショウサイ セッテイ」を選ぶ

<トウロク>
7：ショウサイ　セッテイ

2 決定 を押し、◎で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

<ショウサイ　セッテイ>
2：ナンバ゛ーテ゛ィスフ゜レイ

3 決定 を押し、◎で「オコトワリバンゴウ」を選ぶ

<ナンバ゛ーテ゛ィスフ゜レイ>
6：オコトワリバ゛ンゴ゛ウ

4 決定 を押し、◎で「トウロク」を選ぶ

<オコトワリバ゛ンゴ゛ウ>
1：トウロク　2：ショウキョ

5 決定 を押し、登録番号（2ケタ）を入れる（00～29）

<オコトワリバ゛ンゴ゛ウ>
オコトワリ　　NO.＝00

●番号を入れまちがえたときは、消去ボタンを押して手順４からやり直します。

6 電話番号を入れる（最大20ケタ）

<オコトワリバ゛ンゴ゛ウ>
NO.＝0312345678

●電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。市外局番を登録しないと通常の着信となり、着信音が鳴ります。
●番号を入れまちがえたときは、消去ボタンを押して、もう一度入れ直します。

7 決定 を押す

●手順５の登録番号入力から、手順７までをくり返して、最大30件までの番号を登録できます。

8 停止 を押す

特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

消去 を押します。

■ **登録したお断り番号を1件ずつ消すときは**

① 登録 を押す

② で「ショウサイ　セッテイ」を選び、決定 を押す

③「ナンバーディスプレイ」を選び、決定 を押す

④ で「オコトワリバンゴウリスト」を選び、決定 を押す

⑤ で「ショウキョ」を選び、決定 を押す

⑥ 消去する登録番号（00〜29）を入れる

⑦ 決定 を押す

（続けて他の登録番号を消すときは、⑥〜⑦をくり返す）

⑧ 停止 を押す

■ **登録したお断り番号をプリントして確かめる**

記録紙がセットされていることを確認する

① 登録 を押す

② で「インサツ」を選び、決定 を押す

③ で「オコトワリバンゴウリスト」を選ぶ

④ 決定 を押す

（特定番号のリストが印刷されます。）

お知らせ

- お断りする番号を登録したときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください。（ダイヤルボタンの周囲が点灯します。）
- お断り番号の登録（最大30件）ごとに別々の受けかたを設定することはできません。
- お断り番号を登録しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。
- お断りする番号からの着信があった場合の着信音の回数は2回です。変更することはできません。